

第26回法政世田谷寄席

と き：令和7年（2025年）2月15日（土）午後2時開演

ところ：三茶しゃれな一あどホール

恒例となった法政世田谷寄席は今年で26回を迎え、新しいしゃれなあどホールにて開催された。

87歳の高齢の会長と役員の方々は、机と椅子を片付け定員150席の客席作り、左橋師匠を初め出演者の方々は台と机で舞台を作り、赤毛氈を敷き、座布団を乗せマイクをテストし会場作りに大わらわの態・・・。

一時間後、会場にこぎ着け、ロビーでお待たせをしたご最前様をご案内。

ほぼ満席で開演。開口一番は桃月庵ぼんぼり。前座話の「転失気」を演じたが、開口一番に相応しく、元気の良い笑いを取っていた。

続いて「そろそろ真打ち昇進か？」と思わせる桃月庵こはく（ぼんぼりの兄弟子）が登場、酒飲みの噺「替り目」を兄弟子らしく味のある話し方で下げを付け中入りに入った。

お馴染み抽選会は時間の関係で賞品が少なかったのが残念。中入りも充分に取れなかった始末。何しろ限られた時間内に後片付けしないといけないので・・・。

お膝送り（真打ちの前に出る演者）は、春らしい空色のお着物がよく似合う、お馴染み神田陽子先生の登場「徂徠豆腐」を流暢な語り口で、しつとりと聞かせたのは流石。

いよいよ初音家左橋の登場、寒いこの季節の噺「夢金」を熱演。雪の降ってくる場面は聞いているほうも、寒さを感じさせるほどの名調子。窓はチャンと閉まっていた。風は吹き込んでこなかったのに！近ごろあまり演らない噺でした。

「有難う御座います!!有難う御座います!!」の声に送られながらお客様の顔は満足そう。笑顔でお帰りになりました。

何はともあれ法政世田谷寄席 26 年も続けさせていただけたのは、偏に来場して下さったお客様のご最良の賜物。校友会の皆様のご協力のお陰と心より御礼申し上げます次第に御座います。

今後とも末永く開催出来ますよう、皆様のご支援頂き度くお願い申し上げます。

東京都校友会、世田谷法友会役員一同

世田谷法友会 島田秀考 記



神田陽子先生



初音家左橋